

授業科目 発達障害理学療法学

【担当教員名】 押木 利英子		対象学年	3・4	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要】 小児理学療法の適応になる代表的な疾患の事例検討をとおして病的運動発達、問題の抽出、目標設定、各種治療法を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児理学療法の適応と目的を理解できる 2. 各種治療法の理論と基本的手技が説明できる 3. 小児理学療法の対象となる代表的な疾患の概要と病態把握ができる 4. 発達障害をきたす疾患の病態評価と治療が想定できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	小児理学療法総論 各種治療法概論 (Bobath法、Vojta法 他)			1, 2	講義、担当：押木 利英子
2	発達のアプローチの基本的テクニック			2	講義、担当：押木 利英子
3	事例別理学療法の実際 (脳性麻痺児：四肢まひ)			3, 4	講義、担当：押木 利英子
4	事例別理学療法の実際 (脳性麻痺児：両まひ)			3, 4	講義、担当：押木 利英子
5	事例別理学療法の実際 (ダウン症児)			3, 4	講義、担当：押木 利英子
6	事例別理学療法の実際 (二分脊椎児)			3, 4	講義、担当：押木 利英子
7	事例別理学療法の実際 (先天性筋疾患児)			3, 4	講義、担当：押木 利英子
8	まとめ			1, 3, 4	講義、担当：押木 利英子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児理学療法テキスト	田原弘幸 他	南光堂	2010・4,000円＋税
参考書					
その他の資料		授業中に配布するプリント			
【評価方法】 出席、授業態度、レポート、筆記試験などを 通して総合的に行なう			【履修上の留意点】 質疑を歓迎します。		